論 文

自然言語処理技術を用いたアナリストレポートの実証分析
―センチメントの変化と株式市場の反応について―

工　藤　秀　明 CMA
永　島　　淳
宮　崎　義　弘 CMA

目　　次

1．はじめに
2．アナリストレポートの計量化
3．投資判断の変更とアナリストのセンチメント
4．センチメントと株式リターン
5．終わりに

自然言語処理技術を用いて個別銘柄を取り扱うアナリストレポートを定量評価する手法を提示し、記述的情報の有用性を示す実証分析を行う。投資判断に関係する情報を抽出したセンチメントスコアを各レポートに対して算出し、実証分析を行った結果、①投資判断の変更以前からセンチメントに変化が生じている、②同じ種類の投資判断の変更であっても、センチメントの違いがその後の超過収益率に影響している、ことが明らかになった。

工藤　秀明（くどう　ひであき）
野村アセットマネジメント㈱　運用部ジャパン・ストラテジック・バリューグループ シニア・ポートフォリオ・マネージャー。2004年京都大学大学院理学研究科博士課程修了。02年より（独法）日本学術振興会 特別研究員、同海外特別研究員を経て、07年野村アセットマネジメント入社。

永島　淳（えいじま　じゅん）
㈱野村総合研究所 ビッグデータイノベーション推進部 主任システムアナリスト。1994年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業、96年 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科修士課程ソフトウエア工学専攻修了、同年４月㈱野村総合研究所入社。

宮崎　義弘（みやざき　よしひろ）
野村アセットマネジメント㈱　運用部ジャパン・ストラテジック・バリューグループ シニア・ポートフォリオ・マネージャー。1995年野村アセットマネジメント入社。05年より現職。